

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成 24 年 5 月 17 日 (2012.5.17)

【公開番号】特開 2011-95627 (P2011-95627A)

【公開日】平成 23 年 5 月 12 日 (2011.5.12)

【年通号数】公開・登録公報 2011-019

【出願番号】特願 2009-251370 (P2009-251370)

【国際特許分類】

G 0 2 B 3/00 (2006.01)

G 0 2 B 27/18 (2006.01)

B 4 1 J 2/44 (2006.01)

B 4 1 J 2/45 (2006.01)

B 4 1 J 2/455 (2006.01)

H 0 4 N 1/028 (2006.01)

【F I】

G 0 2 B 3/00 A

G 0 2 B 27/18 A

B 4 1 J 3/21 L

H 0 4 N 1/028 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 24 年 3 月 28 日 (2012.3.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1 3】

物体の倒立像を中間像面上に中間像として形成する第 1 のレンズと該第 1 のレンズが形成した中間像の倒立像を結像面上に形成する第 2 のレンズとからなるレンズ対が、該レンズ対の光軸と直交する方向へ略直線に複数配列されたレンズアレイを有し、

前記第 1 のレンズの第 1 主平面と物体面との距離を $S O 1$ 、前記第 1 のレンズの第 2 主平面と前記中間像面との距離を $S I 1$ 、前記第 2 のレンズの第 1 主平面と前記中間像面との距離を $S O 2$ 、前記第 2 のレンズの第 2 主平面と前記結像面との距離を $S I 2$ としたとき、距離 $S O 1$ の距離 $S I 1$ に対する比が、距離 $S I 2$ の距離 $S O 2$ に対する比に略等しく、前記第 1 のレンズと前記物体面との間隔が、前記第 2 のレンズと前記結像面との間隔と異なるように形成されている レンズユニットを用いた L E D ヘッド。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1 4】

物体の倒立像を中間像面上に中間像として形成する第 1 のレンズと該第 1 のレンズが形成した中間像の倒立像を結像面上に形成する第 2 のレンズとからなるレンズ対が、該レンズ対の光軸と直交する方向へ略直線に複数配列されたレンズアレイを有し、

前記第 1 のレンズの第 1 主平面と物体面との距離を $S O 1$ 、前記第 1 のレンズの第 2 主平面と前記中間像面との距離を $S I 1$ 、前記第 2 のレンズの第 1 主平面と前記中間像面との距離を $S O 2$ 、前記第 2 のレンズの第 2 主平面と前記結像面との距離を $S I 2$ としたと

き、距離 S_{O1} の距離 S_{I1} に対する比が、距離 S_{I2} の距離 S_{O2} に対する比に略等しく、前記第 1 のレンズと前記物体面との間隔が、前記第 2 のレンズと前記結像面との間隔と異なるように形成されているレンズユニットを用いた露光装置。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 15

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 15】

物体の倒立像を中間像面上に中間像として形成する第 1 のレンズと該第 1 のレンズが形成した中間像の倒立像を結像面上に形成する第 2 のレンズとからなるレンズ対が、該レンズ対の光軸と直交する方向へ略直線に複数配列されたレンズアレイを有し、

前記第 1 のレンズの第 1 主平面と物体面との距離を S_{O1} 、前記第 1 のレンズの第 2 主平面と前記中間像面との距離を S_{I1} 、前記第 2 のレンズの第 1 主平面と前記中間像面との距離を S_{O2} 、前記第 2 のレンズの第 2 主平面と前記結像面との距離を S_{I2} としたとき、距離 S_{O1} の距離 S_{I1} に対する比が、距離 S_{I2} の距離 S_{O2} に対する比に略等しく、前記第 1 のレンズと前記物体面との間隔が、前記第 2 のレンズと前記結像面との間隔と異なるように形成されているレンズユニットを用いた画像形成装置。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 17

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 17】

物体の倒立像を中間像面上に中間像として形成する第 1 のレンズと該第 1 のレンズが形成した中間像の倒立像を結像面上に形成する第 2 のレンズとからなるレンズ対が、該レンズ対の光軸と直交する方向へ略直線に複数配列されたレンズアレイを有し、

前記第 1 のレンズの第 1 主平面と物体面との距離を S_{O1} 、前記第 1 のレンズの第 2 主平面と前記中間像面との距離を S_{I1} 、前記第 2 のレンズの第 1 主平面と前記中間像面との距離を S_{O2} 、前記第 2 のレンズの第 2 主平面と前記結像面との距離を S_{I2} としたとき、距離 S_{O1} の距離 S_{I1} に対する比が、距離 S_{I2} の距離 S_{O2} に対する比に略等しく、前記第 1 のレンズと前記物体面との間隔が、前記第 2 のレンズと前記結像面との間隔と異なるように形成されているレンズユニットを用いた読取装置。